

■進捗状況

中項目 3-10

公開日：2026年 6月

分野	項目名
SDGs	国連等の諸機関との連携
内容	
これまで国連諸機関と連携し、難民の就学支援や、講演会・シンポジウムの開催等に取り組んできた。また、国連が世界の大学等の高等教育機関との連携を推進する「国連アカデミック・インパクト」に加盟し、学内外でSDGs活動を推進してきた。他、ユネスコスクールに小中学校が加盟を目指すための支援活動を展開してきた。 SDGsの達成に向け、国連諸機関との連携を強化するとともに、ASAIHL（東南アジア高等教育協会）等の諸機関との交流を通じ、「誰も置き去りにしない」という地球社会の実現に取り組む。	
取組状況	
2021年度	国連開発計画（UNDP）、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）、国連食糧農業機関（FAO）などの国連機関との連携を強化しインターンシップ実施も含めた協力事業を推進した。また、国連アカデミックインパクト参加大学、さらには国連大学サステイナビリティ高等研究所（UNU-IAS）のプラットフォーム参加大学として、SDGs推進に先導的役割を果たせるよう各種活動に取り組んだ。また、ユネスコスクール支援大学間ネットワーク（ASPUnivNet）の活動を通じて、八王子を含む多摩地域を中心に、ESD教育分野でも貢献する活動を進めた。
2022年度	国連開発計画（UNDP）、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）、国連食糧農業機関（FAO）、国際熱帯木材機関（ITTO）でのインターンシップ事業や平和講座の実施など協力事業を推進した。また、難民高等教育プログラム（RHEP）の受け入れおよび修了者の進路支援を推進した。さらに本学平和問題研究所で難民研究プロジェクトを発足させ、UNHCRと連携しながら研究会などを開催した。ユネスコスクール支援委員会の活動としては、海外のユネスコスクールとの連携を強化するとともに、地域に開いたSDGs講座等を定期的に開催し、ユネスコスクール関東ブロック大会を本学で開催した。そして、情報集約と発信の強化として、国連アカデミックインパクトのSDGs推進活動の情報を集約するためのプラットフォーム構築への検討を進めた。
2023年度	・本年 7 月にサイモン・ウィーゼンタール・センターと本学が共催し、国連広報センター等が後援となり、「ホロコースト展」を本学にて実施した。サイモン・ウィーゼンタール・センターのクーバー副会長による講演会「ナチスによるホロコーストから私たちは何を学ぶべきか」と題した講演をSoka Global Perspectives（国内外の有識者による連続セミナー）として開催した。 ・国連開発計画（UNDP）の関係者等による平和講座を共通科目「環境と開発」の一環として実施した。国連機関へのインターン派遣については、2023年度に国際熱帯木材機関（ITTO）との協定に基づいてインターンシップ等のプログラムに関する協議を開始した。 ・「難民映画祭パートナーズ」に参加している本学は、国連アカデミック・インパクト（UNAI）への参画を機に発足した学生団体「ASPIRE SOKA」との共催で、2018年より毎年上映会を開催している。2023年度は、映画『シャドー・ゲーム～生死をかけた挑戦』の一般参加型上映会（後援：国連UNHCR協会）を本年10月に開催した。 ・持続可能な開発のための教育（ESD）に関して、本年度より、教育学部専門科目として「国際開発教育論」「国際理解教育論」「平和と教育」をユネスコスクール関連科目として開設した。
2024年度	・国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）との協定に基づき、学部生および大学院生の受け入れを継続した。 ・難民の苦難と希望を描いた映画を通じて理解と共感を深めることを目的に、UNHCRと連携して難民映画祭「ムクウェゲ～『女性にとって世界最悪の場所』で闘う医師」の上映会を開催した。 ・本学平和問題研究所設置の難民研究プロジェクトでは、難民問題の歴史、政治、経済、社会、文化などの多様な側面の研究に取り組んだ。加えて、国連開発計画（UNDP）等においてインターンシップ事業や平和講座の実施などの協力事業を推進した。 ・ユネスコスクール支援委員会の活動においては、海外のユネスコスクールとの連携強化に取り組んだ。また、学生の主体的取り組みによる「ユネスコクラブ」の活動のサポートに努めた。

2025年度	・国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）との協定に基づき、学部生および大学院生の受け入れを継続した ・難民の苦難と希望を描いた映画を通じて理解と共感を深めることを目的に、UNHCRと連携して難民映画祭「グレート・グリーン・ウォール」の上映会を開催した。
	・国連世界食糧計画（WFP）、国連開発計画（UNDP）、国連食糧農業機関（FAO）、国際熱帯木材機関（ITTO）等と連携して平和講座を開催するとともに、各機関のインターンシップに参加する学生の育成を進めた。
	・ユネスコスクール支援委員会を中心に国内外のユネスコスクールとの連携強化を進め、学生の主体的取り組みによる「ユネスコクラブ」の活動をサポートした。これまでの活動が評価され、6月に「ユネスコスクール」への加盟が決定した。

事業計画3-10-26

達成度 A・・・達成 B・・・一部達成 C・・・未達成

計画名	UNHCR難民高等教育プログラム（RHEP）等による難民の就学支援					
実行開始年度	2021年度					
年度達成度	2021年度	B	2025年度	A	2028年度	
	2022年度	A	2026年度		2029年度	
	2023年度	A	2027年度		2030年度	
	2024年度	A	最終目標からの達成度		A	
2026年度以降	最終目標を達成しており、2025年度をもって「完了」とする。					

事業計画3-10-27

計画名	UNDP（国連開発計画）やFAO（国際連合食糧農業機関）等との連携強化					
実行開始年度	2021年度					
年度達成度	2021年度	B	2025年度	A	2028年度	
	2022年度	B	2026年度		2029年度	
	2023年度	A	2027年度		2030年度	
	2024年度	A	最終目標からの達成度		A	
2026年度以降	最終目標を達成しており、2025年度をもって「完了」とする。					

事業計画3-10-28

計画名	国連アカデミック・インパクトでの活動等を通じたSDGsの推進					
実行開始年度	2021年度					
年度達成度	2021年度	A	2025年度	A	2028年度	
	2022年度	A	2026年度		2029年度	
	2023年度	A	2027年度		2030年度	
	2024年度	A	最終目標からの達成度		A	
2026年度以降	最終目標を達成しており、2025年度をもって「完了」とする。					

事業計画3-10-29

計画名	ESDに寄与する教員養成プログラム開発とユネスコスクール支援					
実行開始年度	2021年度					
年度達成度	2021年度	A	2025年度	A	2028年度	
	2022年度	A	2026年度		2029年度	
	2023年度	A	2027年度		2030年度	
	2024年度	A	最終目標からの達成度		B	
2026年度以降	2026年度以降の新たな計画に、本取り組みを「統合」する。					